

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
社会科教育法	講義	2	大西 慎也
【授業のテーマ及び到達目標】 1、社会科の目標と学習指導要領の変遷について理解する。 2、社会科で育てる子ども像を理解する。 3、学習指導案の作成と授業の展開について理解する。 4、授業やノートの記述、ペーパーテストなどによる評価方法を理解する。			
【授業の概要】 社会科の変遷、育てる子ども像、授業のあり方について理解する。先人が行ってきた授業事例に学びながら、教材研究、単元づくりを行い、社会科の授業づくりと学習指導案の作成方法を理解する。さらに、模擬授業を実践し、授業内容と共に発問、板書、評価についても理解する。			
【全体の授業計画・内容】			
1. 社会科の目標と学習指導要領の変遷			
2. 社会のしくみが分かる子どもを育成する社会科授業			
3. 社会的論争問題について考える子どもを育成する社会科授業			
4. 小学校社会科の内容構成と評価			
5. 社会科の授業事例の紹介と分析			
6. 学習指導案の作成(児童観、教材観、指導観、目標の記述について)			
7. 学習指導案の作成(単元計画、本時案の記述について)			
8. 教材の開発			
9. 模擬授業実施と検討(第3・4学年「地域の産業、消費、生活の学習」「安全(消防・警察)の学習」)			
10. 模擬授業の実施と検討(第3・4学年「地域の地理的環境(都道府県)の学習」「先人の働きの学習」)			
11. 模擬授業の実施と検討(第5学年「国土と環境の学習」)			
12. 模擬授業の実施と検討(第5学年「農業・水産業・工業・情報産業の学習」)			
13. 模擬授業の実施と検討(第6学年「歴史学習」)			
14. 模擬授業の実施と検討(第6学年「政治、国際理解学習」)			
15. 模擬授業の総括			
【準備学習の内容】 予習のあり方: 毎時間配布する予習プリントに取り組んでくること。 学習のあり方: 意欲的に講義に参加し、より多くの知識を習得しようとする事。 復習のあり方: その日に学んだことをノート等に整理すること。			
【成績評価】 ・授業への参加(模擬授業時の児童役を含む)が20%。 ・リフレクションカード(毎時間のまとめ)が20%。 ・作成した学習指導案が30% ・模擬授業が30% 以上の項目により、総合的に評価する。			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】 リフレクションカードには、必ずコメントをつけて次時に返却する。			
【テキスト】 特になし(プリントを配布する)			

【参考文献】

原田智仁『社会科教育のルネサンス』保育出版社 2016.4

岩田一彦『社会科固有授業理論 30 の提言』明治図書 2001

米田豊『「習得・活用・探究」の社会科授業 & 評価問題プラン小学校編』明治図書 2011